

● わかったことを 体であらわそう ●

つくしグループ

「くちばし」

1 単元の目標と評価規準

目標：読み取った情報を基に、鳥の動きを動作化し、伝え合うことができる。

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。	① 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。	① 読み取った情報を基に、動作化して友達と伝え合おうとしている。

2 教材について

中															はじめ
事例3					事例2					事例1					
⑬	⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
餌	使い方	答え	問い	特徴	餌	使い方	答え	問い	特徴	餌	使い方	答え	問い	特徴	話題提示
はなのみつをすう。	ほそながいくちばしを、はなのなかにいれる。	はちどりのくちばし。	これは、なんのくちばしか。	ほそくて、ながくのびたくちばし。	なかのみをたべる。	まがつたくちばしのさきで、かたいたねのからをわる。	おうむのくちばし。	これは、なんのくちばしか。	ふとくて、さきがまがつたくちばし。	きのなかにいるむしをたべる。	とがつたくちばしで、きにあなをあける。	きつつきのくちばし	これは、なんのくちばしか。	さきがするどくとがつたくちばし。	いろいろなとりのくちばしをみてみよう。

本教材「くちばし」は、3種類の鳥「きつつき」「おうむ」「はちどり」のくちばしの形や仕組みを知ること、自然界の多様性や生命の巧妙な仕組みを知り、驚きや興味をもって学習することができる。

3 単元計画（全6時間）

次	時	学習目標	学習活動
第一次	1	クイズ図鑑を作ることを知り、いろいろな鳥がいることを知ることができる。	○鳥について知っていることを発表する。 ○鳥の映像を観て、気が付いたことを発表する。 ○音読をする。
	2	教材文を読んで、内容の大体を読み取ることができる。	○本文を読んで、きつつき、おうむ、はちどりについて書かれていることを理解する。 ○繰り返し音読し、本文を読めるようにする。
第二次	3 4 5本時	3つの事例を読み、理解したことを動作化で表現することができる。 第3時【事例1 きつつき】 第4時【事例2 おうむ】 第5時【事例3 はちどり】	○「問い」と「答え」を見付ける。 ○読み取ったことを基に動作化して伝える。 ○クイズをつくる。
	6	既習事項を活用し、ペリカンの文章を読み取ることができる。	○「問い」と「答え」を見付ける。 ○読み取ったことを基に動作化して伝える。 ○クイズをつくる。
第三次			

4 全力参加のための手立て

動作化

はちどりが花の蜜を吸うところを動作化する。

→ 内容理解

クイズづくり

本文を振り返り、クイズをつくる。

→ 内容理解の表出

5 本時の展開（全6時間中の第5時）

本時の目標：読み取ったことを理解し、動作化して表すことができる。

時間	学習活動	・指導上の工夫 ・▲個別の支援	評価規準 (評価方法)
導入 5分	1 前時までの学習を振り返る。 2 本時で学習するめあてと流れを確認する。	・「きつつき」「おうむ」について、動作化をして振り返られるようにする。 (くちばしの形・使い方・食べ物)	

展開Ⅰ 25 分	はちどりになりきって、体を動かそう	
	3 「はちどり」の写真から気が付いたことを発表する。 4 内容を捉えるため音読し、「問い」と「答え」を見付ける。 〔ネームプレート〕 5 くちばしの形、使い方、餌について書かれている文を確認する。 6 くちばしの形、使い方、餌を読み取り、1分間、曲が流れている間、動作化して表現する。〔共有化〕 T: 友達のはちどりの良かったところは、どこですか？ C: 蜜をたくさん吸っていた。 C: 羽をたくさん動かしていた。 T: はちどりになった感想はどうですか？ C: 羽をずっと動かさないといけないから大変。 C: いろんな蜜を吸えるから楽しい。 ゆさぶり発問 T: おうむみたいなくちばしではだ ・児童が興味をもてるように写真を隠しながら提示する。 【視覚化】 ・「問い」の話型を提示して、それをヒントに見付けられるようにする。 ・探し出した文に、児童が顔写真を貼ることで、全員参加を促す。 ▲教員と一緒に一文ずつ確認し、くちばしの形、使い方、餌について書かれている文に、ピクトグラムを貼って視覚的に分かるようにする。 ・動作化のポイントを教員と一緒に確認し、羽の動かし方、蜜の吸い方を考えるよう促す。 ・はちどりになりきれるように、くちばし、羽、餌を用意する。【仕掛け】 ▲動作化に自信のない児童は、教員と動きを確認してから発表する。 ・友達の発表の良いところを見付けられるように言葉を掛ける。 ・自然界に適応するために進化して	はちどりの文から、くちばしの形、使い方、餌を読み取ることができている。(発言)  かんがえたい 読み取った情報を基に、動作化して表すことができる。 (表現)  つたえたい

	めですか？ C:蜜が吸えない。 C:おうむのくちばしだったら、花をつぶしてしまう。 T;なぜ、はちどりは、細くて長いくちばしなのでしょう？ C:花の蜜が吸いやすいため。	いることや生き物の不思議さに気付けるように言葉を掛ける。	
展開2 まとめ 15分	みんなで3ヒントクイズを考えよう 7 分かったことを基にスリーヒントクイズをつくる。 8 振り返る。 9 個別学習に取り組む。	・学習して分かったことを基にしてクイズをつくるように促す。 ・タイムタイマーを使い、取り組む時間が分かるようにする。	

6 板書計画

3ひんとくいず

① 1つめのひんと

② 2つめのひんと

③ 3つめのひんと

めあて

「はちどりになりきって、からだをうごかそう」

事例3の本文

「3ひんとくいずをかんがえよう。」

7 授業観察の視点

- (1) 本時のねらいが達成されていたか。そのための指導法が考えられていたか。
- (2) 児童が全力参加する姿が見られていたか。
- (3) 分かりやすく、考えを深めたり広げたりするために有効な発問であったか。